

# DSプロフィール

**ActiveServer**は単一のインスタンスで国際ブランドの**Production Directory Server**と**GPayments TestLabs**両方に接続できる**DSプロフィール**をサポートしています。

- **Production Directory Servers** : **Directory Servers** ページで設定された国際ブランド (American Express, Discover, JCB, Mastercard, UnionPay(銀聯) and Visa) ディレクトリサーバー。
- **TestLabs** : **GPayments TestLabs** は、**Directory Server** と **Access Control Server** で構成されます。クライアントが**ActiveServer** インスタンスで機能テストを実行するためのさまざまなカード会員シナリオが設定されています。 **ActiveServer** でサポートされているすべての国際ブランドは、**TestLabs** でサポートされています。

## TestLabsセットアップ

TestLabsへの継続的なアクセスが必要な場合は、TestLabs DS通信用に追加のポートを開く必要があります。これにより、実稼働国際ブランドのDirectory Serverを使用するのと並行してTestLabsでテストできます。追加のポートは、GPayments TestLabs Directory Serverから外部からアクセスする必要があります。設定は `application-prod.properties` に追加する必要があります。以下にプロパティの例を示します：

```
##-----  
## GPayments TestLabs DS ports  
##  
## GPayments TestLabs directory serversのDSポート  
##-----  
  
## Visa TestLabs  
as.testlab.visa.port=9800  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.visa.enabled=false  
  
## Mastercard TestLabs  
as.testlab.mastercard.port=9801  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.jcb.enabled=false  
  
## American Express TestLabs  
as.testlab.amex.port=9802  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.amex.enabled=false  
  
## Discover TestLabs  
as.testlab.discover.port=9803  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.discover.enabled=false  
  
## JCB TestLabs  
as.testlab.jcb.port=9804  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.jcb.enabled=false
```

`application-prod.properties` の設定の詳細については、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

## Trans-typeパラメーター

DSプロファイルを使用するには、Production Directory ServerとTestLabsを切り替えるための認証URLに `trans-type` クエリパラメータが必要です。デフォルトでは、テスト目的で、すべての認証リクエストはGPayments TestLabsディレクトリサーバーに送信されます。本番環境に移行するときに、APIリクエストを国際ブランドのディレクトリサーバーに送信するには、`trans-type=prod` クエリパラメータをAPI URLに追加する必要があります。

### なぜ `trans-type=prod` クエリパラメータが必要なのか？

API URLにパラメーター「trans-type」を追加することで、テストが完了するまではGPayments TestLabsを使用し、認証要求が誤って国際ブランドディレクトリサーバーに送信されないようにします。

認証リクエストを本番ディレクトリサーバーに送信する場合は、以下のエンドポイントに `trans-type=prod` パラメータを追加する必要があります。

- **BRW**トランザクションの場合、 `InitAuth` プロセス
- **App**および**3RI**トランザクションの `Auth` プロセス
- **Enrol**エンドポイント。

たとえば、 `InitAuth` は本番ディレクトリサーバーの場合、次のURL `https://api.testlab.3dsecure.cloud/api/v2/auth/brw/init?trans-type=prod` で呼び出されます。

上記のとおり、このパラメーターが指定されていない場合、認証リクエストはGPayments TestLabsに送信されます。APIの仕様の詳細については、[APIドキュメント](#)を確認してください。

### `trans-type` パラメータが期待どおりに機能しないのはなぜですか？

サーバー側の設定 `as.auth.allowed-trans-type` がAPIパラメータを上書きするように設定されていないことを確認してください。詳細は[クイックスタートガイド](#)でご確認ください。